



【報告（情報共有）】「本校の様子」が 9月7日（日）の朝刊に掲載されました

岐阜県立大垣南高等学校長の 種田 昭彦（おいだ あきひこ）です。

まず始めに、9月5日の【休校判断】に関して、今振り返ってみると「見極め」の難しさを痛感しています。しかしながらこの教訓を生かして、「臨時休校」となった場合における生徒一人ひとりの【学びの保障】を目的として、「タブレット端末等を利用したオンライン学習支援」の検討をしています。この検討は、学校の位置する地域以外で、降雪等により一部地域に警報が発令された場合を含みます。内容がまとまり次第お伝えさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（いつもながら長〜い前置きからの本論で大変失礼いたします。ここからが本論です。お付き合いください。）

次の【本校独自の二つ取組】が、今朝の『岐阜新聞』に掲載されています。
※なお、著作権法上の関係により紙面の複製を添付することができません。



【大垣共立銀 大垣南高で出前講座】

9月4日（木）に、一年生全員を対象に各教室で、大垣共立銀行の行員による「金融教育」に係る出前講座を行いました。この取組は家庭担当の下野教諭によるもので、「家庭」で学んだ内容を深め、今後の人生に生かしていくことを目的としたものです。参加した生徒のコメントを含めて、その様子が掲載されています。ご覧いただければ幸いです。▶『岐阜新聞』3面

【松山、大垣南高で指導】

9月6日（土）に、パリオリンピックにおいて「フェンシング団体 金メダル」の松山恭助選手を本校に招いて、本校フェンシング部員を含めた地域の小・中・高生を対象に技術指導を行ったり、デモンストレーションを披露したりしました。この取組は本校のフェンシング部の卒業生である鈴木健太さんの紹介で実現したものです。参加した生徒のコメントを含めて、その様子が掲載されています。ご覧いただければ幸いです。▶『岐阜新聞』11面

「二つの取組」ともに、普段の学校生活では経験できないことです。生徒たちにとっては、
【専門家やプロから学ぶ】ことの意義は大きく、「学びの深まり、やる気の刺激」につながります。
今後も本校では外部人材の効果的な活用を通して、【生徒の未来への投資】に繋げていきます。



最後の最後までお読みいただきありがとうございます🙏
皆様にとって「今日という日が充実した一日」となりますことをお願いして🙏
生徒の皆さんとは、明日の朝、元気な声で「おはよう」からのスタート😊

▶【前期期末考査】まで約2週間前。「目標」を掲げ、それを実現するための「見通し」を立てよう👍



写真・文 大垣南高等学校長の 種田昭彦（おいだ あきひこ）

